②

令和8年度11月補正予算(案)の主要取組

令和8年11月5日

静岡市

- Ａ　子育て支援の充実と地域福祉の推進
- Ｂ　地域経済の活性化
- Ｃ　文化芸術・スポーツを活かしたまちづくり

１　こどもの屋内型遊び場の整備

こども未来課

補 正 額

	事　業　費	国庫支出金(1/2)※2	市　　債	一般財源
(継続費) 期間：2026～2028	(1億円)	(5,000万円)	(4,500万円)	(500万円)
2026年度	△3,780万円※1	△1,890万円	△1,700万円	△190万円

※1 整備スケジュールの変更による継続費の年割額の変更に伴う2026年度予算の減額

※2 地域未来交付金

背　　景

○天候に左右されず体を使った遊びができる「屋内型のこどもの遊び場」を求める多くの子育て世帯からの声を受け、旧蒲原保健福祉センターの2・3階を活用した常設の屋内型遊び場を整備することとした。
○2026年4～5月に複数事業者へのサウンディング調査を実施したところ、1階を使用できないことで、ベビーカー置き場の配置が難しいことや、遊び場施設の入口がわかりにくいなどの多くの懸念点が判明した。

目　　的

○遊び場を1階部分も含めた建物全体の活用に変更することで、ベビーカー置き場の設置や、わかりやすい出入口とするほか、遊び場空間をさらに充実させるなど、利用者の利便性や快適性を最大限に高め、こどもと保護者の満足度が高い施設とする。

実 施 内 容

○既存建物の「こどもの遊び場」としての活用範囲を見直し、“2・3階部分” から ”1階部分を含む建物全体“ に変更するため、総事業費を増額するとともに、整備期間及び各年度の予算額を変更する。

	(変更前)		(変更後)	
・事業費	2026年度	3,780万円	2026年度	0万円(△3,780万円)
	2027年度	3億2,577万円	2027年度	6,113万円
	2028年度	0万円	2028年度	4億　244万円
	総額	3億6,357万円	総額	4億6,357万円(＋1億円)
・活用面積	延べ1,388㎡ (2階:1,001㎡、3階:387㎡)		延べ2,464㎡(＋1,076㎡) (1階:1,076㎡、2階:1,001㎡、3階:387㎡)	
・整備スケジュール	2026年　5月	事業者募集	2027年　1月	事業者募集
	2026年12月～	設計 及び 改修工事	2027年　7月～	設計 及び 改修工事
	2028年　5月	開館	2029年　2月	開館

２　医療的ケア児等支援センターの設置

障害福祉企画課

補 正 額

事　業　費	国庫支出金(定額)※	市　　債	一般財源
(債務負担行為　2,360万円)	(845万円)		(1,515万円)

※児童虐待防止対策等総合支援事業費国庫補助金

背　　景

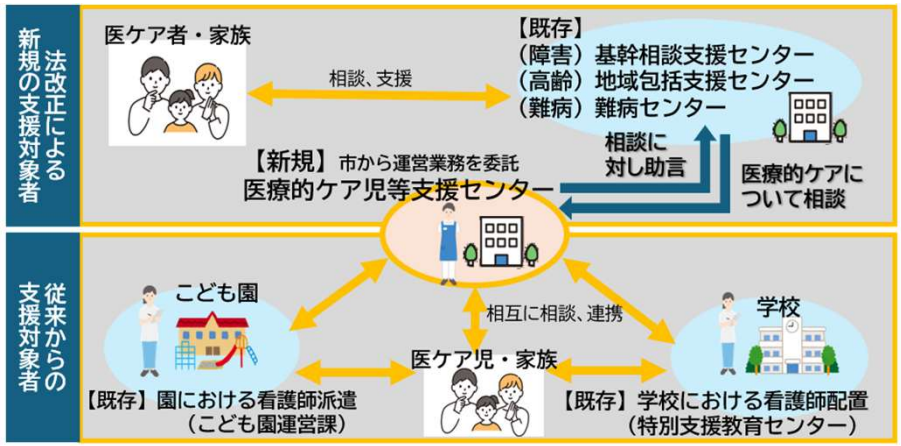
○日常的に医療的ケアを必要とする医療的ケア児等の増加・多様化に対応するため、2021年度から医療的ケア児等支援コーディネーター(医療職1名、福祉職1名)を配置している。
○2026年7月「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の改正により、支援対象者が医療的ケア児等だけでなく、医療的ケア者、重症心身障害者、成人後に医療的ケアが必要となった者及びそれらの家族まで拡大された。
○「医療的ケア児等支援センター」の設置について、2027年4月から都道府県だけでなく政令指定都市も可能になった。

目　　的

○法改正により、2027年4月から支援対象者が拡大されることに伴い、従来からの相談対応に加え、関係機関等との連携、人材育成等の機能を担う拠点として「医療的ケア児等支援センター」を設置し、医療的ケア児等が必要な支援を円滑に受けられ、地域で安心して暮らすことができる社会を実現する。

実 施 内 容

○「医療的ケア児等支援センター」を設置し、医療的ケア児等支援コーディネーター(医療職1名、福祉職2名)を配置する。
(開設準備のための債務負担行為の設定)
・設置時期　2027年4月～
・設置場所　医療的ケア児等支援センター運営業務(プロポーザル発注予定)の受注者の事業所に設置する。
・実施効果　医療的ケア児等支援センターと基幹相談支援センター等との間に、相談・助言を行う連携体制を構築することで、医療的ケア者等がより適切な支援を受けることができる。



※医療的ケア児等支援センター・・・
医療的ケア児等やその家族への相談対応、医療関係機関等との連絡調整、人材育成などを通じ、地域における支援体制整備を担う中核的な機関

３ 就労困難者支援事業

地域包括ケア推進課

補 正 額

事　業　費	国庫支出金(3/4)※	市　　債	一般財源
(債務負担行為 4,300万円)	(3,225万円)		(1,075万円)

※地域就職氷河期世代等支援推進交付金

背　　景

○現在、高齢者、就職氷河期世代を含むミドル世代を対象とした「高齢者等就労促進事業(NEXTワークしずおか)」と、就職氷河期世代、手帳を持たない障がい者、難病患者、ニート・ひきこもりの方等を対象とした「インクルーシブ雇用推進事業」の2つの就労促進事業を実施しているが、対象者の一部に重複が生じている。
○2つの事業を一体的に実施することで、就労希望者は年齢や状況を問わず、対面・SNSなど自分に合った方法で相談ができるようになり、必要な就労支援へこれまで以上に円滑につながりやすくなる。

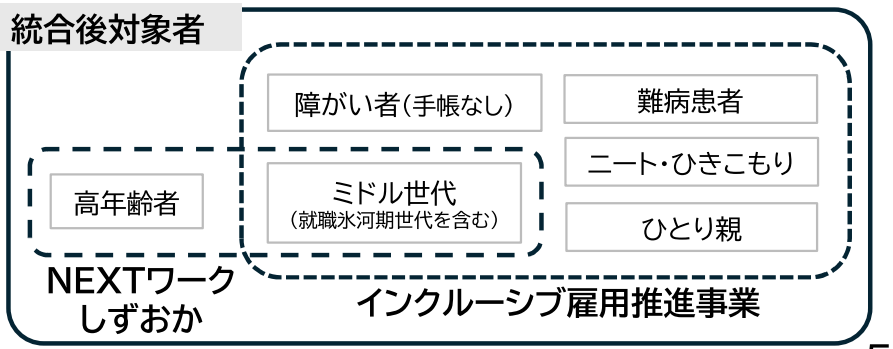
目　　的

○高齢者、就職氷河期世代、手帳を持たない障がい者、難病患者などが、就労を通じて生きがいや社会とのつながりを得るとともに、経済的自立と生活の安定を図ることができるよう、伴走型の支援を行い、企業とのマッチングを進めることで、一人ひとりの特性や希望に応じた就労につなげるとともに、企業における多様な人材の活躍を促進する。

実 施 内 容

○就労を希望する人、企業に対し、支援を行うため、2027年4月に2つの就労促進事業を統合した窓口を設置する(開設準備のための債務負担行為の設定)。
・設置場所　就労相談窓口『NEXTワークしずおか』(静岡庁舎2階)
・実施内容　・SNSを利用したオンラインでの就労相談支援
・就労希望者と企業のマッチング支援
・企業に対するコンサルティング
・企業向け、就労希望者向けセミナーの実施
・就職後の定着支援　　等

【統合後のイメージ図】



４　市立清水病院に対する補助金

保健衛生医療課・清水病院事務局

補 正 額

事　業　費	国庫支出金	県支出金	市　　債	一般財源
8億2,000万円				8億2,000万円

背　　景

〇入院・外来患者数の減少による収益の悪化が続いており、2024年度決算では実質約22億円の赤字、2025年度決算では約29億円の赤字と年々赤字が拡大し、運転資金も2027年2月頃には資金不足となる見込みである。
〇経営改善のための収益改善や徹底的な支出の削減に取り組んできたが、2026年9月時点においても収支が改善されていない。
〇市立清水病院は、救急医療や小児医療などの暮らしに欠かせない医療サービスを提供しており、清水地域の医療を支える中核的な医療機関としての役割を担っているため、病院事業に必要な運転資金を確保し、安定的な地域医療を提供することが必要である。

目　　的

〇2026年度決算見込みにおいて、年度途中に運転資金が不足する事態に直面しているため、
病院経営を継続するための財源措置として、市立清水病院に対する一般会計補助金の増額を行う。

実 施 内 容

〇市立清水病院に対する財政支援を目的とした一般会計補助金の増額

≪2026年度補助金交付額≫

・当 初 予 算:　13億円
・補正予算額:　8億2,000万円
・総　　額:　21億2,000万円

≪2026年度病院事業会計の収入見込み≫

	(当初見込)	(決算見込)	(増　減)
入院収益	55億9,000万円	50億2,000万円	▲5億7,000万円
入院患者数	93,842人	85,501人	▲8,341人
外来収益	22億2,000万円	19億7,000万円	▲2億5,000万円
外来患者数	140,937人	123,653人	▲17,284人

- Ａ　子育て支援の充実と地域福祉の推進
- **Ｂ　地域経済の活性化**
- Ｃ　文化芸術・スポーツを活かしたまちづくり

１　模型文化発信施設建設候補地地質調査業務

産業振興課

補　正　額

事　業　費	国庫支出金	市　　債	一般財源
（債務負担行為1,485万円）			（1,485万円）

背　　景

○「模型の世界首都」である静岡市には多数の模型関連施設が立地するとともに、年間を通じて様々な模型関連イベントが実施されているが、施設やイベント間の連携が不足し、相乗効果が十分発揮されていない。
○2011年に開館した「静岡ホビースクエア」の年間来場者数は年々減少している。同施設は、元々美術館として整備された施設で構造的な制約があり、大型展示や空間演出など展示内容の刷新が難しい。
○一方、東静岡地区は文化交流地区として計画され、まず、グランシップが建設され、現在は、2030年開業予定の静岡市アリーナ、JR東静岡駅直結の産学官連携施設、新県立中央図書館の整備などが計画され、文化を通じて多様な人々が集う交流拠点としての機能強化が進められている。
○静岡市議会では議員発議による「模型の世界首都条例」の検討が進み、さらなる模型産業の発展、観光誘客、模型文化に触れ楽しむことができる環境整備及び情報発信等の施策の強化が求められている。

目　　的

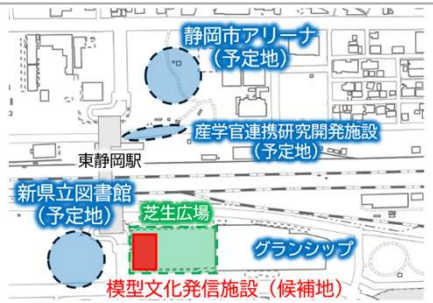
○静岡駅南口の静岡ホビースクエアを移転し、模型文化発信施設として整備するため、建設候補地の検討にあたり、グランシップ芝生広場の地質調査を行う。

実 施 内 容

○ボーリング調査及び土質試験を行い、施設整備に必要な地盤条件を調査することで、今後の検討に活用する。

＜委託業務内容＞　・ロータリー式ボーリング（60m）2か所
・土質ボーリング、標準貫入試験、土の細粒分含有率試験等

＜事業スケジュール＞　・2027年3月～2027年5月



出典：国土地理院「地理院地図Vector」
加工：静岡市（表示範囲の調整、施設名称・位置等の追記）

２ 空き家建替え促進事業

住宅政策課

補 正 額

事　業　費	国庫支出金(1/2)※	市　　債	一般財源
8,000万円	1,840万円		6,160万円

※防災・安全社会資本整備交付金

背　　景

○静岡市は、2026年地価調査結果の概要によると土地価格が上昇しており、土地・建物を買い求めにくい状況にある。特に、初めて土地・建物を購入することとなる若い世代においては、その状況がより顕著である。
○売却や利活用が困難な空き家であるため流通せず放置され、土地の流通が停滞している。
○放置期間の長期化により空き家の状態が悪化し、倒壊等の危険性が高まることで、災害時には避難路を塞ぐなど、市民の安全・安心を脅かす要因となり得ることが課題となっている。
○今年度当初から、出前講座・ワンストップ相談会、空き家所有者や業者等への周知を行った結果、所有者の需要の掘り起こしにつながったことにより、申請件数が当初の見込みを大幅に上回った。

目　　的

○活用の困難な空き家の適切な除却を促すことで、土地の流通性の活性化及び空き家の建替えの促進を図る。

実 施 内 容

空き家建替え促進事業補助金
○当初予算：1件100万円×80件＝8,000万円
○想定：1件100万円×80件＝8,000万円の増額
・交 付 先　市内にある活用が困難な空き家の所有者又は相続人(自然人に限る)
・補助対象　耐震診断により耐震性がない一戸建ての空き家
・補助経費　空き家の母屋の除却工事(離れ・倉庫等を除く)に要した費用
・補 助 率　1／2
・補助上限　100万円
・申請期間　12月中旬まで(除却工事に1～2か月要するため)
・実施期間　2026年度～2027年度の2年間限定

- Ａ　子育て支援の充実と地域福祉の推進
- Ｂ　地域経済の活性化
- Ｃ　文化芸術・スポーツを活かしたまちづくり

1 2026年カンヌ花火芸術祭最高賞受賞者招へい

観光国際課

補 正 額

事　業　費	国庫支出金	市　　債	一般財源
165万円 （債務負担行為 1,170万円）			165万円 （1,170万円）

背　　景

○姉妹都市であるフランス・カンヌ市と2024年から両市の花火を通じた交流事業を実施しており、2025年度にカンヌ花火芸術祭に清水みなと祭り海上花火が招待された。
○2026年10月に静岡市、カンヌ市、清水みなと祭り実行委員会、カンヌ花火芸術祭主催者の4者で締結した「花火交流に関する協定」に基づき、交流事業として2027年清水みなと祭りに2026年のカンヌ花火芸術祭最高賞受賞者を招へいする。

目　　的

○姉妹都市との交流の成果として清水みなと祭りへの国際性・話題性・芸術性の付加、文化・観光分野における国際連携の強化、市外・海外からの来訪機会の創出と地域経済への波及効果をもたらす。

実 施 内 容

○2026年カンヌ花火芸術祭最高賞受賞者(フィンランドチーム)を2027年清水みなと祭りに招へいする。
2026年度中に花火製作の契約を行い、準備を開始する。(事業実施準備のための債務負担行為の設定)

・清水みなと祭り日程　2027年7月30日～8月1日　※花火の打ち上げは8月1日
・実施場所　静岡市内(清水みなと祭り会場)
・実施内容
・受賞者が制作したプログラムを元に、清水みなと祭り花火を担当する花火業者が花火を製作。
・招へいした受賞者による、お祭りや花火製作現場の視察。
・花火を製作した花火業者と2026年カンヌ花火芸術祭最高賞受賞者の共同による花火の打ち上げを実施。

２　清水日本平運動公園球技場(IAIスタジアム日本平)の改修　　スポーツ振興課

補 正 額

事　業　費	国庫支出金	繰入金※	寄附金	一般財源
(債務負担行為　3億3,440万円)		(5,180万円)	(2億8,260万円)	

※まち・ひと・しごと創成推進基金繰入金
(2025年度以前の寄附金を積み立てた基金からの繰入れ)

背　　景

○企業版ふるさと納税を活用し、静岡市をホームタウンとするプロスポーツチーム等と連携したスポーツの普及や競技環境の整備などの地方創生に資する事業を行う「プロスポーツ等連携プロジェクト」を行っている。
○清水日本平運動公園球技場(IAIスタジアム日本平)は、1991年の開場から築35年が経過しており、これまでもトイレなどの設備を更新しているが、老朽化が進んでいる。
○メインスタンド及びバックスタンドの観客席については2026年1月及び2026年7月に改修した。

目　的

○清水日本平運動公園球技場(IAIスタジアム日本平)の設備を更新することで、観客の快適性を確保し利用者の満足度を向上させる。

実 施 内 容

○企業版ふるさと納税を活用し、清水日本平運動公園球技場(IAIスタジアム日本平)の観客席及び更衣室等の改修を実施する。(工事準備のための債務負担行為の設定)

・改修内容　　東西サイドスタンド観客席　約10,000席の更新
更衣室・脱衣室・シャワー室等の内装改修、
空調・照明機器等の更新　等

・スケジュール　2027年6月～　改修工事
2027年8月　　改修完了

